



# 外国語教育研究センター

外国語教育研究センターは、言語の分野における調査、研究を行う大学附置研究施設であるとともに、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、イタリア語、朝鮮語、アラビア語、そして留学生向け日本語、計 10 言語の外国語科目の授業を開講しています。

国際化が進むなかで、外国語の重要性はますます高まっています。外国語教育研究センターは、質の高い授業を提供する努力を惜しまぬだけでなく、外国語に興味を持ち、自発的に学ぼうという意欲ある学生の皆さんを応援しています。

## ■ 英語

英語が世界で通用する言語であることは言うまでもなく、本学では、自分のレベルを知る目安として現在、入学時と 2 年終了時に TOEIC®L&R の全学共通試験を実施しています。NetAcademy2 というオンライン英語学習システムを導入しており、学内および学外のパソコンからアクセスできますので、ぜひ活用してください。

## ■ 外国語自習室（中央教育研究棟 6F）

開室時間：月曜日～金曜日 10:00～16:30

※ パソコン、CD、DVD、自習用教材、多読用英語書籍等を用意しています。

## ■ 英語以外の外国語

いわゆる「第 2 外国語」はゼロからのスタートですが、それゆえの学習の喜びがあります。街で見かけた言葉の意味がわかったり、その言語の話されている国々のニュースに敏感になったりと、思っていた以上に自分の世界が広がることでしょう。英語以外の言葉を学ぶことによって、英語への一極集中的な状況に対する客観的な視点が持て、また英語、ひいては母語である日本語の理解も深まります。

卒業に必要な単位の取得も欠かせませんが、単位取得後も新たな外国語に挑戦したり、同じ言語の学習を深めている学生の姿も教室でよく見られます。

# 東洋文化研究所

東洋文化研究所は 1952 年、安倍能成学習院長（当時）の「新たな理念と、広い視野をもって、改めて東洋に学ぶことは、日本人自身の為にも世界人類の為にも重要な仕事である」という主旨のもとで発足し、朝鮮・中国を中心とした東アジア地域に関する研究拠点として 60 年の歴史を有し、関連する資料を数多く所蔵しています。毎年、レポート・卒業論文等の作成のため、多くの学生が集まります。

## ■ プロジェクト研究

学内の先生方を研究員とし、また学外の専門家にも客員研究員としてご参加いただき、毎年 10 件前後のプロジェクト研究を行っています。東アジアの歴史・思想・政治・法律・教育・言語などを対象とする一般研究プロジェクトのほか、学習院が所蔵している漢籍や朝鮮関連資料を調査するアーカイブズプロジェクト、若手研究者の研究支援のための共創研究プロジェクトも活動中です。

## ■ 刊行物

年報『東洋文化研究』では、プロジェクトの研究成果のほか、学内外から広く論説の投稿を受け付けており、高水準・最新の東アジア研究の成果が掲載されています。また、単冊の研究報告として、『調査研究報告』も計 64 冊刊行されています。研究成果を広く社

## ■ 公開講座

一般向けのシリーズ講演「東洋文化講座」を毎年開催し、既に 90 回を越えました。また、それぞれの研究プロジェクトでも、海外からの招聘者や学内外の専門家による公開講座やワークショップなどが開かれています。基本的に参加無料、事前申込不要です。

### 2018 年度実施予定プロジェクト

#### ● 一般研究プロジェクト

「日本近代漢語表現の形成とアジア漢語圏近代漢語との比較研究」  
「中国の南向政策：経済の陸、安保の海」  
「日本と韓国における人的資源管理の国際比較—収斂・拡散理論の観点から—」など

#### ● アーカイブズプロジェクト

#### ● 「東アジア学」共創研究プロジェクト

会に還元するため、「学習院大学東洋文化研究叢書」のシリーズを刊行しており、2017 年度には、『東アジア家族法における当事者間の合意を考える』を刊行しました。このほか、朝鮮史の基本資料である『李朝実録』『三國史記』などの復刻も行っています。

## ■ 所蔵資料

東アジア関係の書籍・資料を中心に、約 4 万冊を収蔵しています。研究書・参考書だけでなく、広開土王碑拓本、朝鮮総督府関連資料である友邦文庫など、一次資料も収蔵しています。東アジア研究に必要な辞書・事典類や、四庫全書 CD-ROM など、レファレンスも充実しており、学生の皆さんは、どなたでもこれらの資料を利用できます。

# 計算機センター

計算機センターは、情報処理に関する研究を行う大学附置研究施設であるとともに、情報処理に関する総合基礎科目を開講しています。

## ■ 開講科目

計算機センターの開講科目は、次の通りです。

これらの科目の内容等に関する質問は計算機センター事務室までどうぞ。なお、これらの科目の各学科での単位認定に関する質問は各学科窓口でご相談ください。

総合基礎科目											
情 報											
初等情報処理1	初等情報処理2	情報数理解析入門1	情報数理解析入門2	情報処理入門1	情報処理入門2	情報処理1	情報処理2	情報処理3	情報処理4	マルチメディア論1	マルチメディア論2

## ■ ユーザー登録

計算機センターのコンピューターを利用するためには、まずユーザー登録をしなければなりません。そのためには、総合基礎科目（情報）の「初等情報処理1」を履修し、ネットワーク犯罪の被害者あるいは加害者にならないために、コンピューターリテラシーとネットワークリテラシーについてしっかり学ぶ必要があります。そして、学期終了後、担当教員に情報倫理およびコンピューターの基本操作について、最低限の技術と知識を習得したものと認められた（単位を修得できた）学生は、卒業まで継続して利用することができます。

## ■ 不正アクセスについて

本人以外のアカウントを使用することは認めていません。**アカウントの貸し借り**は厳禁です。発覚した場合はアカウントを停止します。

# 無線 LAN の利用

学内の無線 LAN を利用するためには、計算機センターのコンピューター利用権が必要です。利用権を持つ大学および大学院の教員や学生（研究生を含む）であれば、どなたでも無線 LAN を利用することができます。無線 LAN システムの主な設置場所は下記の通りです。

### ● 学生が利用できる主な場所

東 2 号館 (1,2,5F)、北 1 号館 (1,2F)、北 2 号館、北別館、中央教育研究棟、南 1 号館、南 2 号館、南 4 号館、南 6 号館、南 7 号館、西 2 号館、西 5 号館(学生ホール)、大学図書館(1,2F)、輔仁会館(1,2F)、百周年記念会館(ホワイエ)、富士見会館(2-4F)

### ● 利用するための情報

個人の端末を接続するには、設定が必要です。

詳しくは、計算機センターの Web サイト <http://www-cc.gakushuin.ac.jp> を参照してください。

## ■ 授業用パソコン・実習用パソコン

計算機センターでは、授業時に利用するパソコン、および、実習用にオープン利用できるパソコンを用意しています(63 ページ参照)。これらのパソコンを利用するには、各自がユーザー登録されている必要があります(次のユーザー登録参照)。

実習室 I には開室時間中、インストラクターが常駐していますので、パソコンのトラブルや使用方法についての質問をしたり、計算機センターで作成した手引書をもらうことができます。

もちろん、これ以外の授業でコンピューターを使用する場合は、ユーザー仮登録をしますので、その履修期間中のコンピューター使用は可能です。ただし、卒業までの継続利用はできないので注意してください。

また、計算機センター利用認定試験に合格した学生にも、卒業までの継続利用を認めます。ただし、この試験は、すでにコンピューターの基本操作について習得済みの学生を対象にしていますので、初心者は必ず「初等情報処理1」の授業を履修してください。